

平成18年度の南魚沼市の台所事情

本市の台所事情を家計に例えると、毎月の生活費に28万6千円必要（毎月4万4千円のローンの返済を含む。）な家庭が、月収が12万5千円（うち、給与所得は7万5千円。）しかないため、16万1千円の不足が生じている状態です。

この不足額を、実家から13万9千円（家の新增築や家電の購入のための特別な援助：4万7千円、生活費の不足分を援助：9万2千円。）を仕送りしてもらい、今まで蓄えていた貯金を1万1千円おろして、さらに金融機関から2万9千円借り入れることで補っています。（残った7千円は翌月に繰越。）

大変厳しい財政事情となっており、財政基盤を建て直すために平成17年度に「財政健全化計画」を策定し、平成18年度から実行中です。

平成18年度の歳出（支出）

単位：百万円

性質	決算額	家計に例えると
人件費	6,120	食費
物件費	3,030	光熱水費
維持補修費	1,134	家の補修費
扶助費	2,279	医療費
補助費等	2,214	養育費
公債費	4,369	ローンの返済
積立金	1,855	貯金
投資及び出資金・貸付金	304	投資や貸付け
繰出金	3,335	仕送り、町内会の会費
投資的経費	4,021	家の新增築や家電の購入
合計	28,661	

平成18年度の歳入（収入）

単位：百万円

項目	決算額	家計に例えると
自主財源	12,467	
うち、地方税	7,539	主な勤務先からの給与
うち、地方税及び繰入金以外の自主財源	3,779	先月からの繰越金やアルバイト等の副収入
うち、繰入金	1,149	貯金の取崩し
依存財源	16,725	
うち、国県支出金及び各種交付金等	4,676	家の新增築や家電の購入のための特別な援助
うち、地方交付税	9,178	生活費の不足分を援助
うち、地方債	2,871	金融機関からの借入
合計	29,192	